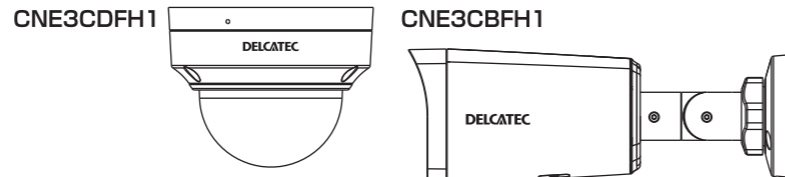


ドーム型高感度ネットワークカメラ CNE3CDFH1 屋外用 保護等級 IP67相当

バレット型高感度ネットワークカメラ CNE3CBFH1 屋外用 保護等級 IP67相当



Dサポート! (製品に関するお困りごとの解決!)
および**設定ガイド**(製品の詳しい設定方法)
をご利用ください

◆Dサポート!
https://qa.dxantenna.co.jp/faq_detail.html?id=1015

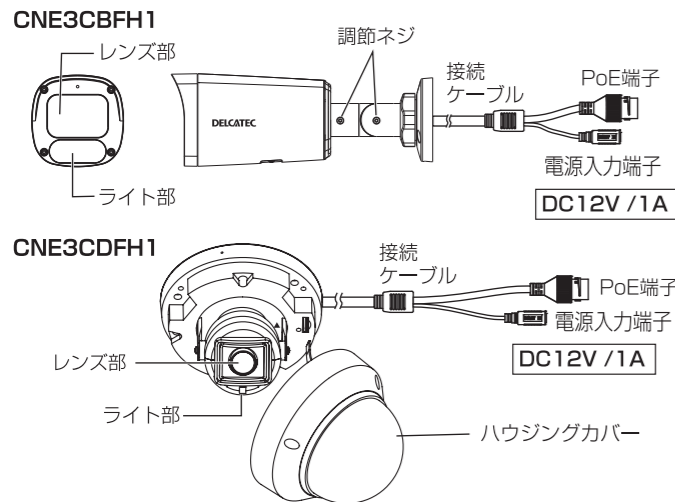


◆設定ガイド
<https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manualimg/CNE3CBF1.pdf>



- 付属品**
- 取付ネジ (3.5×25mm) × 3本
 - 穴あけ用型紙 × 1枚
 - 防水対策用部品セット × 1袋
 - 取扱説明書 × 1部
 - コンクリートアンカー × 3本
 - 安全上のご注意 × 1部
 - トルクスレンチ × 1本
 - QRコードラベル × 1枚

各部の名称



※: カメラが起動すると、ライト部が点灯から点滅に変わり、その後消灯します。

初期化方法

本製品の設定を初期化するときにはリセットボタンを20秒以上押し続けると、カメラが再起動し、LEDが点灯します。
※ハウジングカバーは「**microSDカードの挿入方法**」を参考にして、取り外してください。

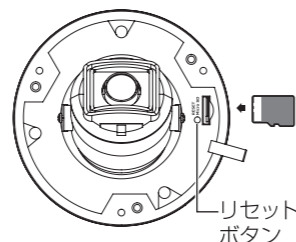
microSDカードの挿入方法

本カメラにmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリーカードを挿入することで録画映像を保存することが可能です。
(補助的な録画先としてのみお使いいただけます)

microSDカードの種類	microSDカード容量
microSD/microSDHC/microSDXCメモリーカード(クラス10以上)	(最大)512GBまで

ドーム型カメラ

ハウジングカバーをはずし(前項参照)、Micro SDカードを下図の向きで挿入します。



memo

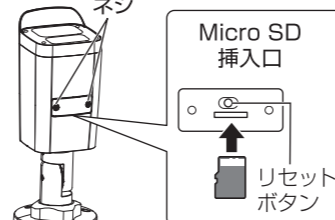
- ご使用前に本製品でフォーマットをしてください(「**録画する**」を参照)。
- microSDカードを抜き差しするときは、本製品の電源を切ってから行ってください。microSDカードが破損する可能性があります。

ご注意

- 屋外に設置している場合、夏季に本製品内部が非常に高温となるため、耐久性の高いmicroSDカードを使用することを推奨します。

バレット型カメラ

本体の下図位置にあるネジ2本を緩めてカバーをはずし、Micro SDカードを下図の向きで挿入します。



memo

- ご使用前に本製品でフォーマットをしてください(「**録画する**」を参照)。
- microSDカードを抜き差しするときは、本製品の電源を切ってから行ってください。microSDカードが破損する可能性があります。

ご注意

- 屋外に設置している場合、夏季に本製品内部が非常に高温となるため、耐久性の高いmicroSDカードを使用することを推奨します。

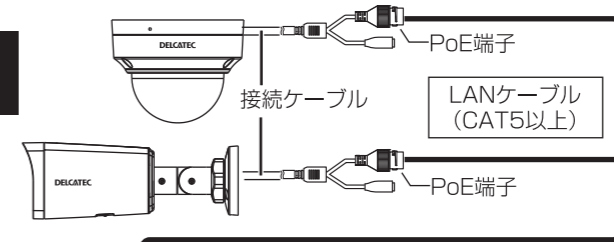
接続のしかた(接続例)

ネットワークレコーダー(別売品)に接続して使用する場合

別売のCNE3Rシリーズのネットワークレコーダーに接続することで、ライブビューの視聴や録画設定をすることができます。

使用できるネットワークレコーダーについては、下記のURLまたはQRコードから、本製品の詳細情報をご確認ください。

<https://dxantenna-product.dga.jp/list.html?category=144&page=1&agenum=1>



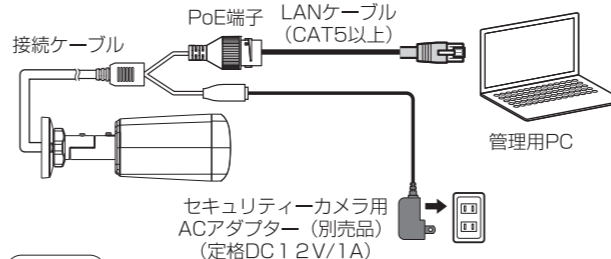
memo

- カメラが工場出荷設定の状態のときは、PoE端子に接続するだけでカメラの映像を視聴できます。(使用するネットワークレコーダーの取扱説明書をご確認ください。)

ネットワークレコーダー(別売品)に接続しない場合

本製品を管理用PCに直接接続する場合

本製品を管理用PCに直接接続すると、CNE3Rシリーズのネットワークレコーダー(別売品)を使用しないで、管理用PCから録画設定やmicroSDカードに録画した録画データの再生などをすることができます。

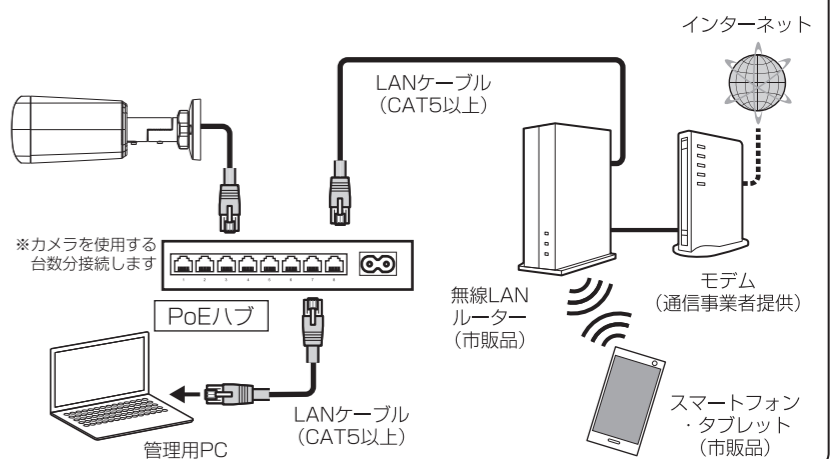


memo

- PoEハブなどを使用しないで、本製品に給電をするときは、別売のACアダプターを使用してください。
- 別売のACアダプターについては、QRコードまたはURLよりDサポートをご確認ください。
https://qa.dxantenna.co.jp/faq_list.html?page=1&category=127

本製品をインターネット回線に接続する場合

本製品をインターネット回線に接続しているPoEハブなどに接続することによって、スマートフォン・タブレットで遠隔監視もすることができます。本製品を接続する前に、ご使用になる環境でインターネットが利用できることを確認してください。



防水要件(屋外でLANケーブルを使用する)

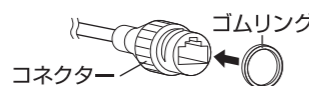
ケーブルは、下記の[防水対策用部品セットの取り付け]を参照して、防水処理を行ってください。不十分な防水処理が原因で装置が破損した場合は、弊社では一切の責任を負いません。

memo

- はじめに必要なケーブルをすべて接続し、映像が正しく表示されていることを確認します。
- LANケーブルの保護には防水加工してある部品を使用してください。
- 市販の自己融着テープと市販のビニルテープでケーブル末端部や接続部を保護してください。

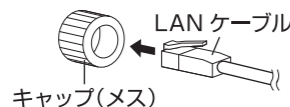
防水対策用部品セットの取り付け

1. ゴムリングをコネクタの奥までしっかり取り付けます。

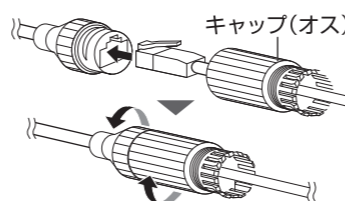


2. LANケーブルにキャップ(メス)を通します。

※LANケーブルは必ずブーツ(保護カバー)の無いものをお使いください。



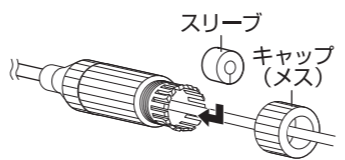
1. LANケーブルにキャップ(オス)を通し、コネクタにLANケーブルを接続してから、コネクタとキャップ(オス)の溝を合わせてしっかりと締め付けます。



2. キャップ(オス)とキャップ(メス)の間にスリーブを取り付けます。

※スリーブには切れ目がありますので上から被せて通すことができます。

3. キャップ(オス)とキャップ(メス)をしっかりと締め付けます。



memo

防水処理が完了したら、ケーブルを防水ジャンクションボックス(別売)に入れることをおすすめします。

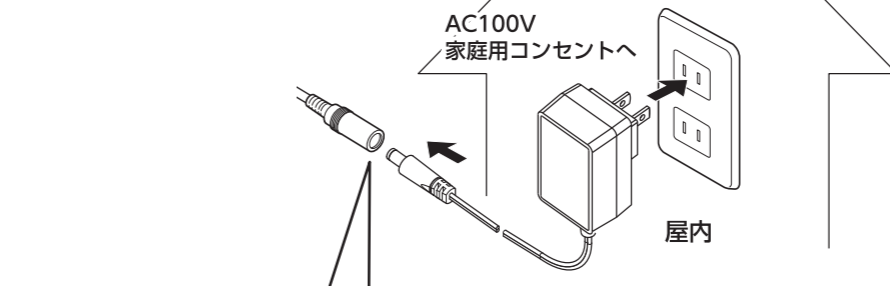
ご注意

- その他のケーブルやコネクタは市販の電線保護材などをして、ケーブルやコネクタが直接水に触れないようにしてください。
- 別売のACアダプターを使用するときは、防水ケースなどに入れてください。

別売のACアダプターを屋外に設置する場合

別売のACアダプターを屋外に設置する場合は、必ず自己融着テープまたは防水ケースを使用して、防水処理を行ってください。

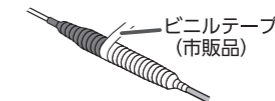
自己融着テープを使用する



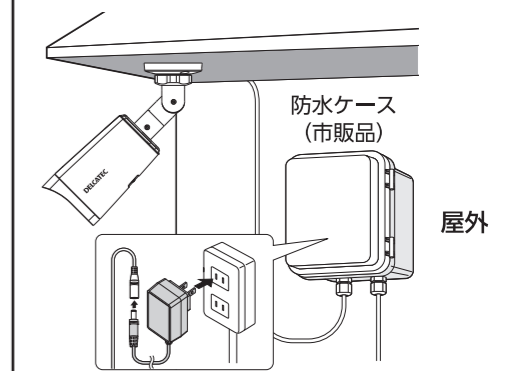
①自己融着テープ(市販品)は、長さ1.5倍に引っ張りながら巻き付けます。巻き終わったら指でおさえて密着してください。

テープの幅の1/2が重なるように巻く

②その上に、ビニルテープ(市販品)をすき間のないように巻き付けます。



防水ケースを使用する

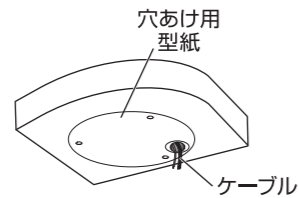


屋外用コンセントには設置できません

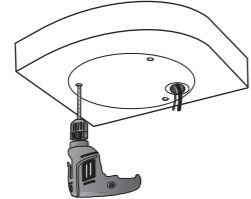
カメラを取り付ける

天井取り付けの場合

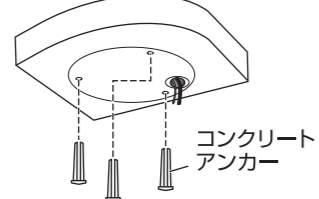
1. カメラを取り付ける位置を決めて穴あけ用型紙を天井に貼り付け、穴をあけてケーブルを通します。



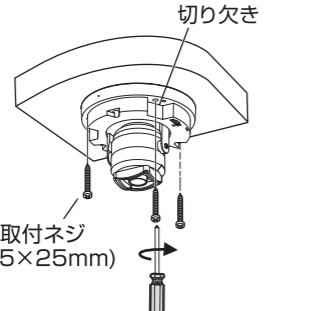
2. 穴あけ用型紙の穴位置に、φ6～6.5mmのドリルで30mmの深さのガイド穴をあけます。



3. コンクリートアンカー3本をガイド穴に打ち込み、しっかりと固定されていることを確認します。

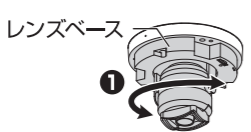


4. カメラを取り付けます。天井とカメラのすべてのケーブルを接続し、ガイド穴に合わせて取付ネジ3本をドライバーで締めつけて、カメラを固定します。



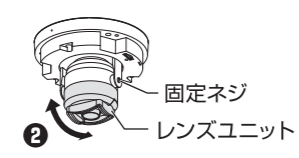
※必要に応じて本体の切り欠きにケーブルを通して配線してください。

5. レンズの方向を調整します。



水平方向に調整する場合は、レンズベース部分を回転させます(①)。

垂直方向に調整する場合は、左右の固定ネジを少し緩め、レンズユニット部の角度を調整します(②)。



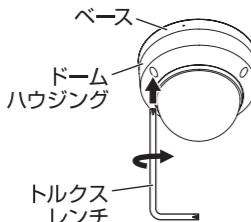
レンズユニット部にある「△」の刻印が、映像での上方向になるようレンズユニット部を回転させます。



ご注意

●レンズベースやレンズユニットが回らなくなったら回転を止めてください。無理に動かすとレンズや可動部が損傷する可能性があります。

6. ドームハウジングを元通りに取り付けます。ドームハウジングとベースのネジ穴の位置を合わせ、ドームハウジングのネジ3本を締めて固定します。



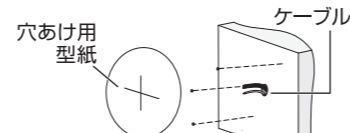
7. カメラの電源を入れ、画像を確認の上、角度や方向等を調整してください。



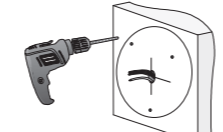
取付面に、カメラの重量を支える強度が十分であることをご確認ください。また、ドリルなどの工具類は事前にご用意ください。

壁面取り付けの場合

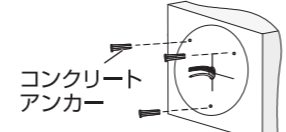
1. 穴あけ用型紙の中心を壁のケーブル用穴に合わせて貼り付け、穴にケーブルを通します。



2. 穴あけ用型紙の穴位置に、φ6～6.5mmのドリルで30mmの深さのガイド穴をあけます。



3. コンクリートアンカー3本をガイド穴に打ち込み、しっかりと固定されていることを確認します。

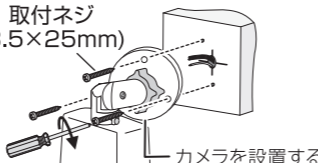


4. カメラを壁面に取り付ける前に、ロックナットと右図2ヶ所の調節ネジを緩め、ネジで固定しやすいようにカメラの角度を調整します。



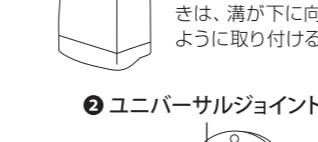
※詳細なカメラ角度の調整は、カメラ固定後、手順6でおこないます。

5. すべてのケーブルを接続し、カメラを壁面に取り付けます。穴あけ用型紙の穴位置とベースの穴位置を合わせて、取付ネジ3本をドライバーで締めつけて固定します。

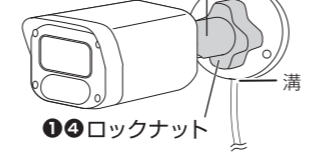


6. カメラの方向を調整します。

1) ロックナット(①)を緩めると、ユニバーサルジョイントを回転させることができます(②)。



2) 右図位置にある2ヶ所の調節ネジを緩めると、カメラの角度や方向を調整することができます(③)。



3) 調整した角度や方向がずれないように注意しながら、ロックナットおよび調節ネジをしっかりと締め付けます。



7. カメラの電源を入れ、画像を確認の上、角度や方向などを調整してください。

カメラの映像を視聴する/録画する

下記の説明は、カメラを管理用PCに直接接続して使用することを主に記載しています。接続方法については、「■接続のしかた(接続例)」の「本製品を管理用PCに直接接続する場合」をご確認ください。

●カメラの映像を視聴する

カメラを管理用PCに接続し、下記を参考に設定してください。カメラの映像を視聴することができます。

1管理用PCのIPアドレスを以下に設定します

IPアドレス: 192.168.1.1 ~ 192.168.1.255(192.168.1.13以外)
サブネットマスク: 255.255.255.0

2管理用PCでウェブブラウザを(Google Chromeなど)を開き、以下のページを表示します。
<http://192.168.1.13>

●カメラ単独でPCと直接接続している場合に設定してください。

●管理用PCのIPアドレス設定方法は、右記のQRコードまたはURLをご参照ください。
https://qa.dxantenna.co.jp/faq_detail.html?id=2478&category=&page=1



3ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します

●ユーザー名・パスワードの入力を5回連続で間違えたときは、約5分間待ってから再度ログインしてください。

初期設定ユーザー名: admin 初期設定パスワード: 123456

●ルーターなどDHCPサーバー機能がある機器に接続すると、「192.168.1.13」ではアクセスできなくなります。その場合は、ネットワークカメラに割り振られているIPアドレスを入力してアクセスしてください。

●一度カメラを別売のCNE3Rシリーズのネットワークレコーダーに接続すると、そのときに割り振られたIPアドレスは記憶されます。その後、カメラをDHCPサーバーのあるネットワークに接続し直しても、最初にネットワークレコーダーから割り当てられたIPアドレス(172.16.0.2~255のいずれか)が保持されます。

本製品のユーザー名やパスワードを変更したときは、忘れないように下記のスペースをご利用ください。

ユーザー名 パスワード

●録画をする

設定した検知内容で検知すると、録画を開始し、カメラに挿入したmicroSDカードに録画データを保存します。

①microSDカードは、事前に本製品でフォーマットをしてください。ホーム画面>「設定」>「ストレージ」から選択してください。

ストレージ クリックをする

記録媒体 フォーマット 有効 有効にする

②ストレージポリシーを選択します。ホーム画面>「設定」>「ストレージ」の「映像ストレージ情報」の項目を設定します。

映像ストレージ情報

ストレージポリシー ●マニュアル&アラーム録画 ○スケジュール&アラーム録画 ○アラーム録画のみ

録画容量不足の場合 ●上書き ○停止

事後録画時間(秒) 60

マニュアル&アラーム録画	常時映像を録画します。
スケジュール&アラーム録画	設定したスケジュールに応じて録画をします。録画スケジュールを設定していないときに、設定したイベントアラームが発生すると録画を開始します。
アラーム録画のみ	設定したイベントアラームが発生したときだけ、録画を開始します。

プラン(録画スケジュール)の設定方法
スケジュール&アラーム録画を選択すると、下記のスケジュール設定画面が表示されます。開始時刻と終了時刻を入力して、設定することもできます。

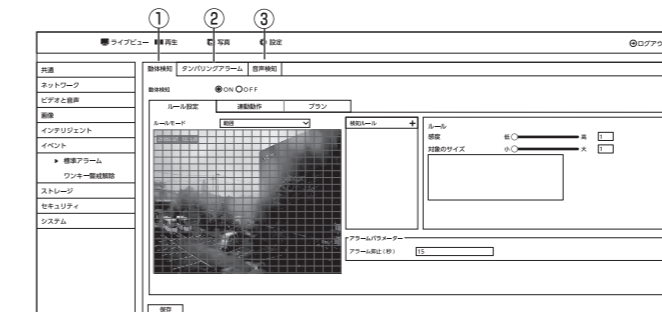
プラン

有効 無効

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
月																								
火																								
水																								
木																								
金																								
土																								
日																								

有効な時間帯 無効な時間帯 有効な時間帯

●「有効」または「無効」を選択した状態で、①の時間帯をドラッグします。検知が有効な時間帯が青色、無効な時間帯が白色で表示されます。イベント録画を設定するときは、ホーム画面から「設定」>「イベント」>「標準アラーム」から選択してください。



- ① 動体検知: 指定した領域内のオブジェクトの動きを検知します。
- ② タンバリングアラーム: カメラが覆われたことを検知します。
- ③ 音声検知: 音量の上昇または体かが設定限度を超える、または入力音量がしきい値に達し合ときに検知します。

詳しい設定方法については、設定ガイドをご確認ください。

●録画データを再生をする

- ①「再生」をクリックする
- ②日付を選択する



- ③「検索」をクリックして、検索結果を選択する

●遠隔監視をする

GuardViewerを使って遠隔監視・操作をすることができます。

GuardViewerをインストールする

Google Play(Android版)またはApp Store(iOS版)からGuardViewerをインストールします。

- ①右記のアイコンをタップして、GuardViewerを開きます。
- ②表示画面の内容に従って、アカウントを登録します。

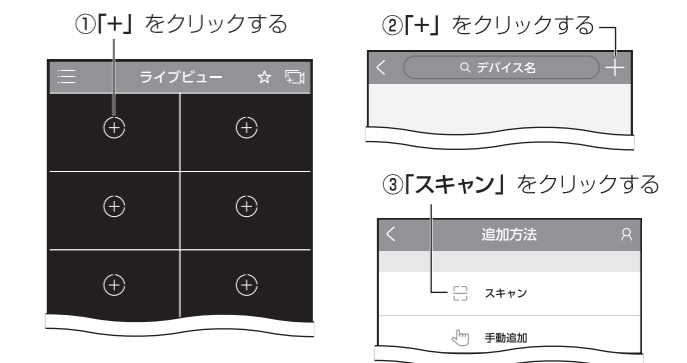
memo

●アカウントの登録方法や操作方法については、右記のQRコードまたはURLより設定ガイドをご確認ください。
<https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manuallmg/GuardViewer.pdf>

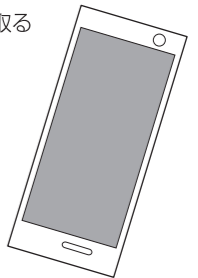
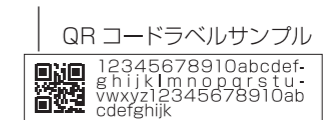


GuardViewerにカメラを登録する

以下の手順でGuardViewerにカメラを登録します。



④付属のQRコードラベルを読み取る



付属のQRコードラベルを紛失しないように、右記のスペースにQRコードラベルを貼り付けて、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

